

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通 信

発行：大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



「昨年の 7 月豪雨災害から 1 年、早期復旧に向けて頑張ります！」

昨年 7 月、かつて経験したことのない豪雨による山国川他の河川の氾濫等により、行方不明者 1 名、家屋の全壊・半壊、床上・床下浸水の被害や道路への崩土、路肩や橋りょうの損壊、農地災害等の被害が多数発生しました。

その豪雨災害から 1 年。やりきれない深い悲しみを乗り越え、現地では地域の方々の変わらぬ郷土愛と絆、皆様方からの温かい支援のもとで、順次復旧・復興が進められています。

この教訓を活かし、二度とあのような災害を繰り返さないために、防災に関する施策を積極的に実施させ、安全で安心な住みよいまちづくりに向けて頑張ります。



昨年の本耶馬溪青地区の様子

さて、第 2 回定例市議会は 5 月 30 日から 6 月 27 日の 29 日間開催され、平成 25 年度一般会計補正予算等の予算関連 3 件、条例議案 6 件、その他議案 4 件、報告 20 件、人事案件 8 件、計 41 件を原案どおり可決し、私たち会派が提案した意見書 2 件を採択しました。

■ 6 月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成 25 年度一般会計補正予算 補正額 1 億 8371 万円

□ 地域介護・福祉空間整備推進補助金；1000 万円

・ 24 時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス施設の整備に対する補助金

□ 介護基盤緊急整備事業費補助金；1450 万円

・ 小規模特別養護老人ホームの整備に対する補助金

・ 上如水地区 定員 29 名

□ 起業支援型地域雇用創造事業委託料；1997 万円

・ 地域の産業・雇用振興策に沿って、雇用創出に資する事業を民間企業、NPO 等へ事業を委託し、失業者を雇い入れて実施

□ 中津城緑地遊歩道整備事業；1351 万円

□ 今津コミュニティーセンター建設事業；1 億 655 万円

・ 今津中学校跡地 約 3,900 m²、平成 26 年度中完成予定



中津城緑地遊歩道整備イメージ

- 旧城下町地区史跡等整備活用事業；1134 万円
・城戸口（広津口、金谷口）の整備

2. 平成 25 年度駐車場事業特別会計補正予算

- 新博多町駐車場整備事業；1813 万円
・自動発券される機械とゲートの設置
・駐車台数 35 台⇒40 台 ・無料⇒有料化を検討中



広津口整備イメージ

3. 条例の制定・改正

- 南部まちなみ交流館の設置及び管理に関する条例の制定
・施設の管理・運営の方法、使用料等が定められました。

- 地区自治委員設置条例の一部改正

- ・委嘱を受けた自治委員が、「刑の執行を受けている」「暴力団関係者や密接な関係のある者」等に該当した場合には、解嘱することができるようになりました。



南部まちなみ交流館整備イメージ

- 歴史民俗資料館分館医家史料館の設置及び管理に関する条例の一部改正

- ・中津城と福澤記念館の共通チケット（大人 600 円、子供 300 円）を提示することで、大江医家資料館、村上医家資料館、木村美術館、耶馬溪風物館が各 100 円で入館できます。

4. 工事請負契約の締結

- 消防救急デジタル無線システム整備工事；3 億 8640 万円
・平成 28 年 5 月末の消防救急無線のアナログ運用の廃止に伴うデジタル化の整備



5. 意見書の採択

- 少人数学級の推進等の定数改善、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元を求める意見書
・豊かな教育環境を整備するため、30 人以下学級とすることなど

- 地方財政の充実強化と地方自治体の主体性の保証を求める意見書
・地方交付税の用途を、地方自治体の自由裁量に委ねることなど



6 月定例市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

1. 道の駅の整備、運営のあり方

〔経過〕中津市では、現在国道 10 号線沿いの加来地区に、JA による直売所、簡易パーキング、遺跡公園が一体となった道の駅の整備を進めており、平成 26 年 4 月には遺跡公園を除いてオープンをするとしています。

道の駅は、今年 4 月 1 日現在、全国に 1004 箇所指定されています。道の駅も過当競争時代に突入し、業績不振に陥る施設も全国には見られます。

(1) 道の駅のセールスポイントについて

＜質問＞今、既設の道の駅は、“発展か衰退か”の岐路に立たされています。中津の道の駅のセールスポイントを伺います。

【答弁】中津には、海・平野・山があり、海の幸と山の幸が豊富に揃います。また、唐揚げやソバなどの特産品も数多くあるのも特性です。

その中津の特性を活かした多種多様な食に関するイベントを開催することにより、世代に関係なくいろんな人が魅力を感じてくれるものと思います。

また、当道の駅の敷地内で、縄文時代の貴重な法垣遺跡が発見されており、これを遺跡公園として整備することで「縄文時代の暮らしとふれあう」ことができます。さらに、道の駅からは八面山の眺望を楽しむことができるといった、道の駅自体が観光資源と言えます。



道の駅の整備イメージ

(2) 農産物等直売所の商品のラインナップについて

＜質問＞道の駅では、「お客様が求める商品やサービスを提供し、その情報を届け、顧客がその商品を効果的に得られるようにする取り組み」が求められます。

そこで、地域型の利用者特性を踏まえた商品のラインナップを行う必要がありますが、直売所における商品ラインナップはどんなものを予定しているのか伺います。

【答弁】直売所の運営主体はJAですが、地元産を中心に、野菜、果物、花き、精肉、鮮魚など、多品目を予定していると聞いております。また利用者のニーズに応えるよう特産品などの土産品の販売についてもJAと協議してまいります。



※写真は、参考例です。

(3) 地産地消バイキング食堂の整備について

＜質問＞次期の整備計画に位置付けられている中津グルメ食堂は、バイキング方式にすべきと考えます。

バイキング方式の食堂では、併設する直売所で旬の食材を仕入れることで、日替わり・週替わりのメニューを提供でき、注文・上げ膳・下げ膳等の手間がいらず人件費を抑えることができます。

また地域の女性達の創意工夫による展開が可能で、素人でも取り組みやすいなどのメリットがあります。

さらに、直売所の廃棄野菜等のリユースも可能となります。そこで、バイキング方式の食堂の整備の可否と整備時期について伺います。



【答弁】ドライバーの休憩に伴う食事、観光客に対する中津の食のアピール、観光客に対するおもてなし等を考慮すると、食堂は早期に整備する必要があると考えており、現在、基本設計の準備をしております。

食堂の内容は、中津にゆかりのある食べ物が提供できる食堂とする予定ですが、方式は検討中です。直売所の野菜などのリユースは食堂の運営上の参考とさせていただきます。

(4) 道の駅の運営方式について

＜質問＞道の駅は、全国的には行政主導の第 3 セクターが管理・運営にあたるケースが多いと聞いています。

利益が出ているうちは良いのですが、いったん赤字運営に陥ると行政負担の上昇による投資の減少→施設の魅力の低下→利用者・売上の減少といった負のスパイラル現象に陥ることになります。

これを打破するためのキーワードは「地域連携と民間活力の導入」であると考えますが、道の駅全体の運営方式、駅長の選考について伺います。

【答弁】道の駅という施設の性格上、民間活力による運営が適しており、指定管理者制度を導入するべきと考えておりますが、現在、内部会議で検討をしております。

指定管理者制度を導入した場合、公募する他、任意指定として、既存組織の活用や新たな管理運営組織の立ち上げも候補の一つになると考えております。

駅長につきましては、地域活性化とまちづくり活動などの取り組みに意欲があり、且つ、経営感覚や企画力に優れた人材が必要であります。今後、適正な人材確保に向けた選考方法を検討してまいります。



直売所甲子園日本一に輝いた
有限会社「道の駅ちばな」（八女市）

(5) JA の委託販売手数料について

＜質問＞農産物等直売所は、JA が市の土地を賃借して建設していますが、農家等が直売所に支払う委託販売手数料は、価格に転嫁され、出荷者・購入者に大きく影響します。

他の道の駅等では 15% 程度となっており、低く設定すべきと考えます。

そこで、誘致企業の優遇制度と同様の考え方で、一定期間土地賃借料を減免し、その分委託販売手数料を低く設定することはできないか伺います。

【答弁】市としては、土地の賃借料や委託販売手数料の設定について、市民や利用者にとって有利となるよう設定したいと考えており、農産物等直売所の運営主体である JA と協議します。



※写真は、参考例です。

(6) 情報・休憩施設の機能について

＜質問＞私の訪ねた道の駅にある情報・休憩施設は物置状態で利用されていない施設が多く見受けられました。

中津の温泉観光を PR する足湯や遺跡展示コーナー、キッズコーナー、授乳室を設けては如何ですか。

【答弁】道の駅内に遺跡公園が存在することから、中津市内の遺跡マップや出土品の展示も考えております。「足湯」につきましては、温泉を活用した施設ではなく、管理経費の面からも設置は考えていません。

「キッズコーナー」の設置は、情報休憩スペース等の優先度から設置は考えておりません。授乳室は必要な施設であり設置する予定です。



2. 太宰府市との友好都市盟約の再締結に向けて

〔経過〕平成 4 年 9 月、旧耶馬溪町と太宰府市は友好都市盟約を締結し、太宰府市民政庁まつり、太宰府市ママさんバレーボール大会への参加、太宰府市ジュニアリーダーと耶馬溪ジュニア・ボランティア・リーダーとの交流会など、町民の相互交流や文化芸術、産業、観光、教育などさまざまな分野での交流を行ってきました。

このように親密な関係のあった太宰府市との友好都市関係が、平成 17 年 3 月の市町村合併により解消されています。

＜質問＞民間レベルでは、「太宰府木うそ保存会」と「耶馬溪ドリーム・フォーラム」による木うその原料となる“コシアブラ”の切出し、昨年の豪雨災害の復興支援や「太宰府市民政庁まつり」への参加など交流は続いています。

東日本大震災を教訓として、同一災害で被災する可能性の低い自治体と親しい関係を持つ取り組みが全国で進んでいます。さらに、九州北部豪雨を踏まえて現地支援に駆けつけやすい近県の自治体との関係も必要です。

また、「学問の神様」菅原道真公と「学問のすすめ」の福澤諭吉先生との「学問のつながり」、旧耶馬溪町時代から続く、市民の相互交流や文化芸術、産業、観光など、さまざまな分野での交流を踏まえて、友好都市盟約書の再締結をすべきと考えますが如何ですか。

【答弁】現段階では、何か絆となるものにより、相互に理解を深め、尊重して信頼関係が構築できることによって、行政だけでなく、住民や団体を含めた相互の親善交流が実態として進めば、友好都市の協定を締結したものと同様の交流ができると考えています。

したがって、包括的な協定でなく、必要に応じ個別の目的毎に協定を締結することにより交流を図っていきたいと考えています。



昨年の太宰府市民政庁まつり。太宰府市長も歓迎していただきました。



太宰府市民遺産第 1 号に認定された「木うそ」

■他の議員の一般質問で明らかになったこと。

- ・7 月 1 日より、風しんワクチンの接種に対し、妊娠を希望する夫婦、妊婦の夫に、上限 5,000 円／人を補助する。
- ・小中学校の風通しの悪い教室に、必要に応じて扇風機を配置していく。
- ・消防団員の確保のため、機能別消防団員を来年 4 月から創設する。
- ・今年度より、ふるさと納税をしていただいた方に、特産品を贈る。
- ・韓国晋州市(チンジュ)との友好都市については、早い時期に締結へ向けて取り組む。



■トピックス

“中津市議会災害対策会議設置規程を制定”

昨年の九州北部豪雨災害を踏まえ、災害の未然防止、被災地・避難所等の状況調査、被災者支援、早期災害復旧等を市議会として対応するため、市議会に災害対策会議を設置する規程を制定しました。



■活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月 日	曜 日	活 動 内 容
4月3日	(水)	大分県自治研センター「地方財政セミナー」講演会
4月7日	(日)	新大塚町子ども神輿祭り
4月8日	(月)	明連寺仏教壮年会総会、春の交通安全週間(交通指導)15日まで
4月10日	(水)	城北中学校入学式、新大塚町環境整備に関する要望書提出
4月11日	(木)	北部小学校入学式、勤労協OB会花見
4月12日	(金)	会派「新生市民クラブ」の打ち合せ
4月15日	(月)	フューチャー談義(龍馬さんと共に語る朝カフェタイム)
4月16日	(火)	県政市政報告会in鶴居
4月18日	(木)	市役所退職者会理事会
4月19日	(金)	軍師官兵衛ゆかりの地(別府市等)巡り、北部4町サロン設立準備会
4月20日	(土)	北部校区自治委員会総会、新大塚町水路清掃活動、アースデー中津
4月21日	(日)	古代遺跡の沖代条里跡の水路を清掃
4月23日	(火)	6次産業推進研究会先進地視察(唐津市・佐世保市)24日まで、
4月25日	(木)	県土木地元説明会(三百間の堤防の津波・高潮対策)
4月27日	(土)	NHK大河ドラマ「八重のさくら」の会津若松市視察(27日～29日)
5月1日	(水)	連合中津地域協議会議員懇談会
5月5日	(日)	終末処理場、新大塚広場草刈り
5月8日	(水)	中心市街地活性化研究会(長岩城、平田城現地調査)
5月9日	(木)	県政市政報告会in大幡、誘致企業等研究会in山国
5月10日	(金)	自治体議員団会議in中津
5月12日	(日)	中津だよ全員集合に出展
5月15日	(水)	6次産業創造推進協議会なかつ駅弁プロジェクト
5月16日	(木)	社民党大分県連合幹事会、支部代表者会議
5月17日	(金)	耶馬溪にっぽん酒をつくる会総会
5月18日	(土)	城北中学校体育大会、中津城たにし祭り
5月19日	(日)	新大塚町運動会
5月21日	(火)	中津市自治研センター視察(武雄市図書館)
5月22日	(水)	建築士会中津支部通常総会
5月23日	(木)	6次産業研究会、「焙煎玄そば粉」特許取得報告会&商品試食会
5月25日	(土)	なかつ耶馬溪活き域さきネット総会、市役所退職者会親睦囲碁大会
5月26日	(日)	永岩小学校「最後の運動会」、山国川水防演習、北部小学校運動会
5月27日	(月)	市政対策会議、総務生活消防委員協議会、自治体議会課題検討会議
5月29日	(水)	大分県議会県民クラブ「地域課題研究講演会」
5月30日	(木)	6月議会開会日、北部校区青少年健全育成会役員会、総会、講演会
5月31日	(金)	市役所退職者会総会
6月1日	(土)	「ごとう慎太郎」参議選総合選対事務所開き、市職労新入組合員学習会
6月2日	(日)	大分県立中津支援学校運動会
6月4日	(火)	なかつ駅弁プロジェクト
6月7日	(金)	6月議会議案質疑
6月8日	(土)	天までとどけ“ほたるコンサート”、北部校区4町サロン設立準備会
6月10日	(月)	政治学習会「自民党の新日本国憲法改正草案の問題点」
6月11日	(火)	6月議会常任委員会(文教経済)、にっぽん酒をつくる会理事会
6月12日	(水)	6月議会常任委員会(総務生活消防)
6月14日	(金)	6月議会委員長報告、質疑、討論、採決
6月15日	(土)	北部校区なぎさサロン設立総会&第1回サロン
6月16日	(日)	耶馬溪にっぽん酒をつくる会田植え
6月17日	(月)	原水禁平和行進
6月18日	(火)	6月議会一般質問(1日目)
6月19日	(水)	6月議会一般質問(2日目)、市職労「働く女性の集い」
6月20日	(木)	6月議会一般質問(3日目)
6月22日	(土)	NPO法人中津まちなみ会総会
6月24日	(月)	起業支援型雇用創造事業説明会
6月27日	(木)	6月議会最終日、話飲の会
6月29日	(土)	中津南高同窓会総会



県政市政報告会 in 鶴居



中心市街地活性化研究会現地調査



北部校区なぎさサロン設立総会



耶馬溪にっぽん酒をつくる会田植え



原水禁平和行進

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルサイトで検索して下さい。